

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		A グループ		施策名									
参加者	行政	中村 英樹、山下 英将 保母 公次		基本目標	1	地域で育むひとづくり							
	町民	林 浩子、岩尾 哲彌		基本施策	1-1	地域で大切にしている子育て環境							
施策情報													
町民目線からの見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・働きながら子どもを持つことが難しく支援が足りない。ファミリー・サポート・センターの運用開始、延長保育や病児保育の充実を望む。 ・子どもの数が減っているが、その原因を分析できていない。 ・子育て世代の交流の場が少ない。 ・子育て支援策はある程度充実しているはずだが、子育て世代の住民（移住希望者）に伝わっていない。 ・地域おこし協力隊、地域活性化起業人の活用など、子育て支援策をPRすることに予算をつけるべきではないか。 ・予算の内容を保護者にも知らせてほしい。 												
予算（事業）名	子ども医療費		放課後児童健全育成事業費		ファミリー・サポート・センター事業費		その他						
主な予算事業（実施計画・事業評価）の良い点	県内でも早くから18歳到達年度末までの医療費助成を行っている。		<ul style="list-style-type: none"> ・児童の健全な育成のため、適正な運営が図られた。 ・うみっこ放課後児童クラブを内海小学校に移転し、利便性が上がった。 		<ul style="list-style-type: none"> ・子育てと仕事の両立といったニーズに対応するため、ファミリー・サポート・センター運用開始に向け取り組んでいる。 								
主な予算事業（実施計画・事業評価）の問題点	県内でも子ども医療費助成の水準がトップクラスであることがあまり知られていない。		<ul style="list-style-type: none"> ・支援員の確保、資質向上 ・入所希望者増加に対する受け入れ体制 ・新型コロナウイルス感染拡大防止策の構築 		<ul style="list-style-type: none"> ・運用開始に向けた会員登録者数の確保 ・制度の周知 								
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	3	点	(内訳)	予算事業	1	点	管理指標	1	点	地域との協働	1	点
	ii	一部努力を要するが概ね順調			(摘要)			(摘要)			(摘要)		

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		B グループ		施策名									
参加者	行政	堀之内浩子 松本伸弘, 宮地利式		基本目標	1	地域で育むひとづくり							
	町民	坂下栄子、家田倫子		基本施策	1-5	安心して住み続けられる長寿社会							
施策情報													
町民目線から見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・車がなくても病院や買い物にこまらぬようにしてほしい。 ・買い物・通院などバスの本数が少ないことが一番問題である。個人としては、車のない知り合いの方を通院や買い物、ワクチン接種など、車に乗せてあげ、サポートしている。 ・独り暮らしで、町の見回り電話等をいただいている。今後の暮らしを考えると、個々の働き甲斐や住民の生活援助の取り組みなど、情報が不足している。町内の高齢者向けの取組等を年に1~2回広報で知らせて欲しい。 ・健康ではなくなった時が不安。 												
予算(事業)名	老人福祉一般管理費		在宅福祉事業費		介護保険特別会計		その他						
主な予算事業(実施計画・事業評価)の良い点	高齢者見守り事業が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため訪問回数は減少しました。		各事業を適切に実施できた。配食サービス事業を介護保険の地域支援事業とすることで財源を確保することができました。		適正に介護サービス費の保険者負担分の支払いが出来ました。								
主な予算事業(実施計画・事業評価)の問題点	訪問できない時期でも安否確認ができる体制の構築が必要です。		事業ごとの利用度に差があるため、各事業の有効性を踏まえ、事業の継続の可否を検討します。		認定者率の増加とともに、一人当たり介護給付費も増加することが見込まれるため、介護予防事業を充実させ健康寿命の延伸を図ります。								
評価結果・グループワーク(意見交換)の意見													
総合評価	合計	4	点	(内訳)	予算事業	1	点	管理指標	2	点	地域との協働	1	点
	ii	一部努力を要するが概ね順調			(摘要)			(摘要)			(摘要)		

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		C グループ		施策名									
参加者	行政	齋藤 桂、相川 洋輝 滝本 義紀		基本目標	1	地域で育むひとづくり							
	町民	桂木 恭子		基本施策	1-7	郷土愛、つながりを育む文化・スポーツ							
施策情報													
町民目線から見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統の維持は「その町の住人である」というアイデンティティに繋がるので、押しつけがましくならないように、その意義を認知させたい。 ・継承しつつ、有り方を変えていかないと存続は難しいと感じています。 ・伝統行事は人手不足を考えて省力化、簡素化はやむをえないが歴史や意義を伝えていくことが重要かと思えます。 ・補助金を出しているだけで、具体的な指導が見られない。それぞれの団体や協会にどれだけ町の指導が生きているか疑問だ。 												
予算（事業）名	生涯学習推進事業費		スポーツ教室・大会開催費		総合体育館維持管理費			その他					
主な予算事業（実施計画・事業評価）の良い点	感染症対策を実施したうえで開催することができた。なお、本事業は地域と学校のつながりを築く貴重な機会である。		新型コロナウイルスの影響で教室、大会の開催が難しい状況のなか、可能な限り開催し、町民のスポーツ活動への積極的な参加を促した。		吊天井の耐震化及びLED化等工事と空調機熱源更新工事を行い、防災拠点としての機能強化を行った。								
主な予算事業（実施計画・事業評価）の問題点	現行の生涯学習推進計画については策定後9年が経過し、生涯学習のあり方について、住民ニーズが明確に反映されているか不透明な部分がある。		町民に対し、運動意欲を増進させる事業の新規開拓が課題である。		施設内のスポーツ用備品は、老朽化等により更新が必要である。								
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	2	点	(内訳)	予算事業	1	点	管理指標	1	点	地域との協働	0	点
	ii	一部努力を要するが概ね順調			(摘要)	広報費や草刈作業の予算を充実させる		(摘要)	内田家や梅原邸などが地元であっても知らないため広報や周知を行う		(摘要)	知らない人が多い	

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		D	グループ	施策名									
参加者	行政	榑原 康広、鈴木 誠、石橋 暁 登、家田 直政		基本目標	2	地元をにぎわすしごとづくり							
	町民	木藤 朝光、坂口 尚子		基本施策	2-5	新たなチャレンジを創る起業支援							
施策情報													
町民目線からの見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 起業・創業しようと活動している自身ですが、文面からも予算事業としては起業支援の要素は低いと思います。起業の相談窓口はない。 ・ wi-fi設置のための補助金制度を希望。町内はまだまだwi-fiが行き届いているとは思えず、これはリモートワークの候補地として魅力的ではないと言える。 ・ 新しい企業を応援することは大切で、初めの数年間は免税など応援の政策は必要かと思う。 ・ 廃校になった校舎を安価で有効活用。 												
予算（事業）名	観光振興事業費	農業振興対策事業費		漁業振興対策事業費		その他							
主な予算事業（実施計画・事業評価）の良い点	町観光協会がおこなう観光振興策について各支部等に補助金を適正に交付することで、地方創生臨時交付金を活用した他の事業との相乗効果を狙い、コロナ渦・アフターコロナを見据えた観光の振興に寄与できた。	就農希望者に対して補助制度の案内や農地相談を行った結果、新規就農者を確保することができた。		技術研修会受講費補助（漁業無線取得）や家賃補助を行うことで後継者、新規就業者の確保ができた。									
主な予算事業（実施計画・事業評価）の問題点	広域圏での観光客招致。観光パンフレットのペーパーレス化など、観光PR方法の検討。	新規就農しても数年で離農してしまう者がいる。		漁業者の高齢化及び後継者不足が著しい。									
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	2	点	(内訳)	予算事業	1	点	管理指標	1	点	地域との協働	0	点
	ii	一部努力を要するが概ね順調			(摘要)		(摘要)		(摘要)		(摘要)		

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		E	グループ	施策名									
参加者	行政	坂本	圭志、間瀬 桂輔 田中 達也	基本目標	2	地元をにぎわすしごとづくり							
	町民		石橋 伊鶴	基本施策	2-3	新たな魅力や価値を生み出す商工業							
施策情報													
町民目線からの 見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商工会等の結束を固めるためにも、統合してみてもどうか。 ・ 実情として内海の商工会員は青年部も含めて年々減少しており、逆に新規会員の話はめったに聞かない。町としては、町外から新規事業をと考えてやってくる人に対してどのような優遇を考えているのか？ ・ 全国をみると小さな町でも、ふるさと納税で多額の寄付金を集めている地域が多々あります。やはり海産物は人気なので、もう少し力を入れることができれば可能性がある分野だと思っています。 ・ 雇用したいけれど募集するにも多額の費用がかかって困っているという事業者さんの話をよく聞きます。可能であれば役場のHPなどで募集がかけられたり、斡旋ができれば良いと思います。 ・ 竹藪の整備を進めてほしい。 ・ 「ミーナの恵み」どこに売っていますか？知らない人が多い。宣伝不足。 ・ 地元就職する子供を増やすために啓蒙活動や生活の環境を考えられないかなと思います。 ・ 3商工会の一本化を。 ・ 3商工会の合併はマスト。 ・ 他市から南知多で農業をやりたい！との希望者がいるが、利用しやすい方法を検討し、紹介する取り組みが必要と思う。 ・ 利益に結び付く魅力が感じれない。資源を生かせるアイデアのある人間の招致、発掘、チャレンジへの支援を積極的に行うべき。コンビニ本部の商品開発部と連携するなど。 												
予算（事業）名	産業連携推進事業費	商工業振興事業費		ふるさと納税事業費		その他							
主な予算事業 （実施計画・事業評価）の良い点	ミーナの恵みブランドの周知効果もあり、前年度に続き新規認定を1件行うことができました。	新型コロナウイルス感染症に関連する相談の増により経営指導員等の負担が増したが、3商工会による町内事業者への積極的な関与により経営の安定化が図ることができました。		コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛の社会状況の中、寄付金を大幅に伸ばした返礼品もあり、目標額に付加づくことができました。		産業まつり推進事業費 消費者行政事業費 など							
主な予算事業 （実施計画・事業評価）の問題点	新型コロナの影響もありますが、みかん酒などの既存の認定品の販売が伸び悩んでいるため、ミーナの恵みブランドや補助事業の更なる周知が必要です。	町内事業者に対する積極的な指導をおこなうためにも、商工会職員の負担増に対する新たな補助メニューの創設や連絡調整を密におこなう必要があります。		確実に寄付額が増加する返礼品を創出することが難しいため、既存の返礼品のPRを積極的に行い、返礼品数を増やしていくことが必要になります。									
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	4	点	(内訳)	予算事業	2	点	管理指標	2	点	地域との協働	0	点
	ii	一部努力を要するが概ね順調			(摘要)	(摘要)		(摘要)		(摘要)			
					<p>商工会と町が共同で実施している事業について、住民の認知度は低い。もっとPRしてはどうか。ふるさと納税事業はさらに拡大すべきである。魅力ある返礼品について町から事業者に対して働きかけをするべき。返礼品選定（開発）委員会などを設置し積極的に開発する、付加価値をつけて高額商品を扱うなどするべきである。</p>		<p>管理指標の目標が達成されれば、住民満足度向上につながると思われる。</p>		<p>商工会と共同で行う事業やふるさと納税の返礼品の開発など、町民へのPRや周知、事業者の協力など積極的に行い、住民と一緒に盛上げていくべきである。</p>				

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		F グループ		施策名									
参加者	行政	百合草 文哉、相川 知久 吉原 裕人		基本目標	3	安心できるまちづくり							
	町民	滝本 孝治、那須 直美		基本施策	3-4	安心な暮らしを支えるインフラ							
施策情報													
町民目線からの見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・前回答した同様（道路、街灯、道の両サイドなど美化して頂きたい。木・草など生い茂っていて凄く危ない。夜街灯も見ずらいしついていない。）水道、電気、様々にして島民は値段が高い。 ・道路や港湾などのインフラ整備をする際はぜひデザイン性も考慮してほしい。都市へ出た若者が帰ってこないのはそういう田舎ならではの”ダサい感性”に嫌気がさしてという面も多大にある。 ・道路沿い草刈りを年に2回はして欲しい。または、地区に任せて助成金を出す。 ・草刈りボランティアを活用してはどうか。 ・生活に必要な部分は大事だけど他は必要などころだけでもいいのではないかと思う。 ・3-1の防災箇所でも要望した。また道路脇や里山下の住宅などに覆いかかる土木施設維持管理（昨年上ノ山1-9～一体を倒木除草を実施した）を引き続きお願いしたい。 												
予算（事業）名	土木施設維持管理費		道路橋りょう維持補修事業費		水道事業会計		その他						
主な予算事業（実施計画・事業評価）の良い点	各区からの要望に対し、緊急的な修繕箇所については、概ね対応ができた。		修繕・改修箇所は、施設の長寿命化が図られた。		水道の安定供給ができた。		漁業集落排水事業特別会計 ・効率的な汚水処理ができた。 ・使用量が減少しているが、維持管理費は横ばい。						
主な予算事業（実施計画・事業評価）の問題点	道路の舗装や側溝の小規模な修繕が増加しており、予算が不足していることから地元の要望を踏まえて優先順位をつけて実施する必要がある。		施設の老朽化が進行しており、今後事業費の増大が予想されています。ライフサイクルコストを考慮した計画的な工事の実施が必要です。		耐震化だけでなく、老朽化に対応する必要がある。								
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	2	点	(内訳)	予算事業	1	点	管理指標	1	点	地域との協働	0	点
	ii	一部努力を要するが概ね順調			(摘要)	建設だけでなく、観光、農業分野とも協力して、様々な国の補助制度の活用		(摘要)			(摘要)	地域との協働が見えてこない	

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		G	グループ	施策名									
参加者	行政	堤田健太、戸田竹彦、片岡克紀		基本目標	3	安心できるまちづくり							
	町民	大松展子、須賀萌乃		基本施策	3-1	まちと命を守る防災							
施策情報													
町民目線からの見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に危機管理は個人の問題が多いのでノウハウを提供することが大切かと思う。 ・自分の問題として全町民が取り組むべき内容。 ・住宅耐震工事費で対象となる住宅の基準を緩和できるといい。 												
予算（事業）名	防災対策事業費		災害対策事業費		住宅耐震改修費			その他					
主な予算事業（実施計画・事業評価）の良い点	防災訓練等で住民の防災力の向上を図っているが、地区ごとに実施しており、他の町に比べて参加しやすい。		備蓄食料は目標値を達成している。		地震発生時における住宅の倒壊や、避難路の通行障害を防ぐことができる。								
主な予算事業（実施計画・事業評価）の問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練への若い世代の参加率が低い ・訓練の実施には新型コロナ対策が必要 		備蓄品目及び備蓄量の見直しを検討する必要がある。		耐震改修の費用が高額。所有者が高齢化している場合が多く、改修に踏み切れない。								
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見													
総合評価	合計	6	点	(内訳)	予算事業	3	点	管理指標	2	点	地域との協働	1	点
	iii	概ね順調			(摘要)		(摘要)			(摘要)			

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		W	グループ	施策名								
参加者	行政	宮地利佳、山本剛 奥川広康、山本剛資		基本施策	4-1		職員の成長とやりがい					
	町民	酒井友之、宮本邦彦		業務改善 推進事項			挑戦できる組織づくり					
施策情報												
行財政マネジメントにおける現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・厳しい財政状況に対応するため、官民連携の活用を推進する必要がある。 ・官民連携事業の経験値やノウハウを全庁的に共有し、横断的に創出する仕組みの定着が必要である。 ・人事評価制度に対する職員の満足度が低い。 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスワクチン接種など突発的な業務に応援体制の構築。 ・男性職員の育児休暇取得率が低い。 <ul style="list-style-type: none"> ・職員のモチベーションの低下及び離職率が高くなっている。 ・山積する課題を解決するための、職員意識と能力の向上が必要である。 ・研修内容の精査とミスマッチの解消が必要である。 ・仕事と生活の両立について困難や不安を感じている職員が多い。 ・新規採用職員募集をしても良い人材が集まらない。 											
業務改善 推進項目	民間活力の活用の推進	職員の意識改革 と能力の向上			労働環境の整備			その他				
業務改善の取組の 良い点	<ul style="list-style-type: none"> ・民間活用を推進することによって、民間の知識、ノウハウを活かすことができる。 ・自治体のコスト縮減、人手不足の解消ならびに地域課題解決につながる。 	人事評価制度の見直しについて重点的に業務改善に取り組んだことで、スピード感を持って、制度の見直し案を提案できた。職員の声を聞くことで、見直しによる評価制度の職員負担への配慮がなされた。			<ul style="list-style-type: none"> ・突発的な業務に対して、分散化人事異動の実施、会計年度任用職員を弾力的に配置するなど横断的協力体制の構築に向けた取り組みが見られる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・官民共創事業の全国の成功事例を研究して取り入れてほしい。 ・資格取得など頑張った職員に対し報償制度の取り入れては。 ・育児休暇取得については、民間に示すためにも実施すべき。 				
業務改善の取組の 問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・民間企業によって営利目的になりサービスの低下や利用料の値上げにならないか。 ・官民連携事業を全庁横断的に取り入れやすく、創出する仕組みづくりが重要 	人事評価制度については、多面評価に対するニーズも多いため、すべての職員が実現可能な制度設定が必要。また、職員研修についても、より充実したものとするための取り組みが必要。			<ul style="list-style-type: none"> ・ワークライフバランスをさらに推進していくためには、業務の効率化を図る取組の検討と実施、休暇を取得しやすい職場風土醸成、上司や同僚職員の理解、ライフステージに応じた柔軟な働き方の提供等の施策を実施していくことが必要。 							
総合評価												
総合評価	合計	7	(内訳)	予算 事業	3	点	業務 改善	3	点	マネジ メント	1	点
	iii	概ね順調			(摘要)			(摘要)			(摘要)	

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		X	グループ	施策名								
参加者	行政	坂口増和、富田和彦、 田中直之、大久保美保		基本施策	4-2		業務の高度化、効率化					
	町民	鈴木甚八、山下かず代		業務改善 推進事項			デジタル化・DXの推進					
施策情報												
行財政マネジメントにおける現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・職員による事業提案制度を構築し一部の事業実施まで達成できたことは評価できる。今後も保留事業の検討要、また、定期的に職員提案募集の機会ができるようになるとうい。 ・電子決済の導入（一部）などにより、テレワークが容易に可能となったが実績はまだ少ない。 ・財務会計事務の電子決裁の導入に向けた研究が必要。また、住民が各種申請をWEBで手続きが完了できるものを増やす必要がある。 ・職員や議員へのタブレット導入など行政情報のデジタル化により、ペーパーレス化の経費削減の実績が出はじめた。今後も更なるペーパーレス化（経費削減）の推進を継続していくことが大切である。 											
業務改善 推進項目	政策・調整機能の強化		行政のスリム化・事務の効率化			行政情報のデジタル化			その他			
業務改善の取組の 良い点	職員による事業提案制度を構築し一部の事業実施まで達成できたことは評価できる。		電子決裁の導入によりテレワークにも対応することができ、業務効率が向上する。			タブレットの導入により、コピー代等の削減につながる。						
業務改善の取組の 問題点	事業提案制度の実施状況を外部への周知をしていない。		財務・会計事務についてはこれらの事務に特化した運用が必要となるため、今後の運用方法を関係課と検討する必要がある。働き方改革の推進（職員意識への浸透）が必要である			取り組み状況の外部発信をしていない。						
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見												
総合評価	合計	5	(内訳)	予算 事業	2	点	業務 改善	2	点	マネジ メント	1	点
	iii	概ね順調		(摘要)			(摘要)			(摘要)		

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		Y	グループ	施策名								
参加者	行政	石黒俊光、相川和英 鈴木和芳、森崇史		基本施策	4-3		町民の満足度向上					
	町民	原一雄、中村修見		業務改善 推進事項			公共施設・サービスの再編					
施策情報												
行財政マネジメントにおける現状と課題	・人口の流出を抑制し、地域社会を持続可能なものとするためには、町民が生活に満足することが必要であり、それが町外にも伝わることも重要。											
業務改善 推進項目	公共施設等の再編			施策・業務の見直し			住民のための体制づくり			その他		
業務改善の取組の 良い点				広報、議会だよりについて、今年度は、とても見やすくなった。住民に伝えたい事案を写真や図、大きな字で記載してあるので、わかりやすい。これからも効果的な発信をお願いしたい。								
業務改善の取組の 問題点	公共施設の利用 師崎保育所や大井小学校など廃止になった施設の有効活用をしていただきたい。						職員の適正管理 職員の働き方、職員のワークバランスの点から職員数を単純に減らすのではなく、住民サービスの需要と供給のバランスをみて検討してほしい。					
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見												
総合評価	合計	4	(内訳)	予算 事業	1	点	業務 改善	2	点	マネジ メント	1	点
	ii	一部努力を要するが概ね順調			(摘要)			(摘要)			(摘要)	

第7次南知多町総合計画 評価委員会 グループワークまとめ

基本情報		Z	グループ	施策名								
参加者	行政	山本有里、内田純慈 坂本有二、山下忠仁		基本施策	4-4		持続可能な行財政運営					
	町民	大岩徳夫、目黒昭彦、秦由岐穂		業務改善 推進事項			持続可能な財政基盤の構築					
施策情報												
行財政マネジメントにおける現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政コスト等の把握及び分析した結果を職員へ周知することにより、職員がコスト意識を持つ必要がある。 ・ 職員のコスト意識に個人差が生じている。 ・ 現在保有する公共施設の多くは人口が最も多かった時期に建設されている。現在の人口に見合った保有量にすることで維持管理費を削減する。 ・ 公共施設等の町有財産の保有量や稼働率を把握する必要がある。 ・ 町の補助金で行っている地域の活動等について、実施方法や資金調達について町と町民が協力して考える必要がある。 											
業務改善 推進項目	歳出の抑制			歳入の確保・充実			効果的・効率的な行財政運営			その他		
業務改善の取組の 良い点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公用車の集中管理や消耗品の購入など、細かなことにも努力されている。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと納税とクラウドファンディングに着眼したことはとてもよい。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 30年かけて50%削減して他市町並みになるという事なので、町民の理解を得ながら確実に進めることが必要。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 削減する町有財産をどのように決定し、町民や事業者の理解を得るか。 ・ 施設の利活用に当たって、例えば老人と子供が同じところに集える施設などができて良いのでは。 		
業務改善の取組の 問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 省エネ対策として、冷房温度の制限等しているが、逆に職員の業務の効率化を下げることにならないか。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと納税の返礼品は農業関係の返礼品が少ない、高齢の方でも出品できるようにレクチャーする機会があるとよい。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、活用方針がまだ策定されていない。また、資産の売却の実績がない。 					
評価結果・グループワーク（意見交換）の意見												
総合評価	合計	5	(内訳)	予算 事業	2	点	業務 改善	2	点	マネジ メント	1	点
	iii	概ね順調			(摘要) ふるさと納税とクラウドファンディングに着眼したことはとてもよい			(摘要) 公共施設の適正化は、町民の理解を得ながら確実に進めることが必要			(摘要)	